

Laboratory of Bio-Sensing Engineering

The Dean's Discretionary

Open Seminar, 2017

講演者: 塩川 哲也 氏 (ゼロックス在日代表)

タイトル: 食品企業の多様化と挑戦～日本企業の戦略は？



場所: 農学部総合館 W-406室

日時: 2017年11月20日(月) 16:30～18:00

内容: グローバル化に伴い、世界の食品企業の多様化と挑戦が続いている。一方で日本企業も食品・農業の分野に新規に進出する企業も出てきた。こうした環境下、グローバル食品企業と日本の食品業企業の違いを炙り出し、さらに、講演者の三井物産時代の食料事業経験、及びGE, XEROXというグローバル企業での経験を踏まえ、今後競争激化が予想される食産業において、日本の食品業企業の課題と成長機会は何か？ 取るべき戦略は何か？を検証する。

グローバル化の中で、高い視点で物事を捉え、変化に果敢にチャレンジするリーダーシップある人材育成が欠かせない。京都大学の学生にはグローバルな環境の中にあってもそうしたリーダーシップを発揮して活躍する人材に成長して欲しいと思う。本講義により、モチベーションを上げて自己の成長機会や学習機会を積極的に求める学生が一人でも増えてくれればよいと願うものである。

英語と日本語で45分ずつ講演して頂ける予定で、どなたでも参加可能です。

連絡先: 生物センシング工学分野 近藤 (6170)